

業務速報

申第7号

2020年度第1四半期決算及び 通期決算に関する申し入れの窓口回答

会社は2019年度（令和2年3月期）決算発表の時点で「次期の業績予想については現在、新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出自粛等の影響により鉄道等のご利用が大幅に減少しており、今後も業績に影響を与える未確定な要素が多く現時点で算定が困難であるため未定とし可能となった時点で速やかに公表する」としていました。

2020年度第1四半期が終了している現時点でも、通期の業績予想は明らかにされていません。組合員及び社員は業績見通しが明らかにならない中、不安を持ちながら業務を遂行しています。

従って団体交渉の開催を求めましたが、現時点で算定が困難であるとして、窓口回答をしました。

会社回答と主なやり取りは、次の通りです。

1. 2020年度第1四半期決算の公表に合わせて団体交渉を開催し、2020年度通期の業績予想を明らかにすること。

【回答】

当期の業績予想については、引き続き新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出及び移動の自粛等の影響により鉄道等のご利用が大幅に減少しており、今後も業績に影響を与える未確定な要素が多いことから、現時点で算定が困難である。

《主なやり取り》

組合：この件については、団体交渉または経営協議会等は開催しないのか。

会社：現時点、業績に影響を与える未確定な要素が多いことから算定が困難であるので、開催しない。

組合：第2四半期決算までには、通期の業績予想はできるのか。

会社：現時点では、不明である。

以上